

静岡県東部地域企業経営動向調査(速報)

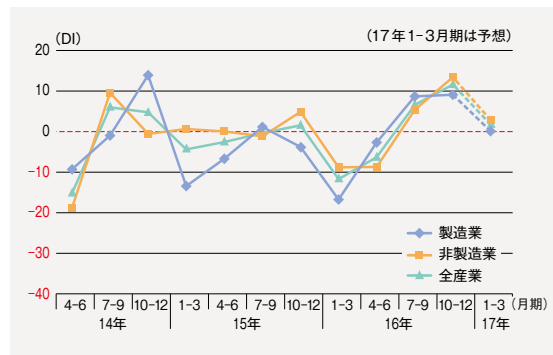
(2016年10-12月期実績、2017年1-3月期見通し)

1 業況概要(自社)

製造業では横ばいも、非製造業で改善が続く

静岡県東部地域における2016年10-12月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で11.5(前期6.5)と前期の予想を上回る上昇となった。製造業ではパルプ・紙・紙加工品や金属製品で上昇したが、食料品でDIが低下したため、全体では9.0(前期8.6)とほぼ横ばいでの推移となった。一方、非製造業では卸・小売・サービス業全体、建設業とも改善が続き、全体で13.3(前期5.3)と引き続き上昇している。

2017年1-3月期の予想DI(今期比)は、全産業で1.6、業種別では製造業0.0、非製造業2.7となり、これまでの上昇感は一服すると予想される。



業種別天気図



(2016年7-9月期と10-12月期は前期比、2017年1-3月期は今期比予想)

業種	業況好調 ←				業況不振 →			
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2016年7-9月期	☁️	☀️	☁️☔️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️
2016年10-12月期	☁️	☀️☁️	☀️☁️	☁️	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️
2017年1-3月期	☁️	☁️	☁️☔️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️

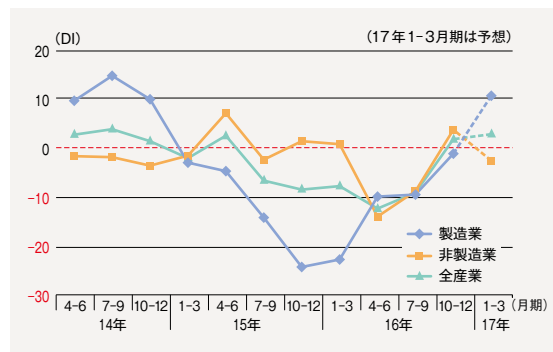
2 売上動向

製造業、非製造業ともDIは上昇

2016年10-12月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は1.6(前期-9.1)と改善が進んだ。製造業では、パルプ・紙・紙加工品と一般機械器具でDIが低下したが、食料品やその他製造業での改善が大きく、全体では-1.3(前期-9.5)と上向いた。一方、非製造業では建設業でDIが若干低下したが、旅館・その他宿泊所などで大幅に改善したため、全体でも3.5(前期-8.8)と上昇している。

2017年1-3月期の予想DI(今期比)は、全産業で2.6と引き続きプラス水準だが、業種別では製造業10.3と上昇見込みに対し、非製造業は-2.7と低下が

予想されている。

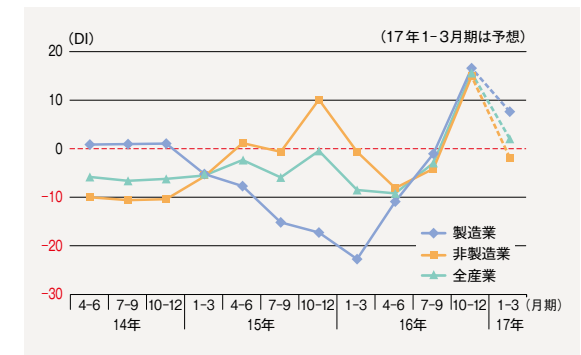


3 利益動向

製造業、非製造業とも大幅上昇でプラス水準を回復

2016年10-12月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は15.7(前期-2.9)となり、前期比大幅な上昇でプラス水準を回復した。製造業では、食料品や一般機械器具を始めとしてすべての業種で改善が進み、全体のDIも16.7(前期-1.0)と大きく上昇した。また、非製造業でも旅館・その他宿泊所を除いた卸・小売・サービス業と建設業で大幅に改善し、全体で15.0(前期-4.1)と上昇している。

2017年1-3月期(見通し)の予想DI(今期比)は全産業で2.1だが、業種別では製造業7.7に対し非製造業-1.8となり、傾向には差異がみられる。



4 経営上の問題点

従業員関連の項目の回答割合が上昇

「人材の育成」、「従業員の高齢化」、「求人難」、「人件費の増加」など従業員関連の項目はいずれも割合が上昇した。一方で、前期いったん上昇した「受注・売

上の停滞・減少」や「過当競争・製品安」の回答割合が今期は再び低下に転じている。なお、「原材料・仕入商品の値上がり」は概ね横ばいとなった。

(単位:社、%)

項目	16年4-6月期		16年7-9月期		17年1-3月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 人材の育成	139	48.9	124	45.1	93	48.7	↑
2. 受注・売上の停滞・減少	137	48.2	150	54.5	87	45.5	↓
3. 従業員の高齢化	97	34.2	85	30.9	64	33.5	→
4. 求人難	84	29.6	78	28.4	59	30.9	↑
5. 過当競争・製品安	72	25.4	83	30.2	50	26.2	↓
5. 人件費の増加	69	24.3	54	19.6	50	26.2	→
7. 生産・販売能力の不足	58	20.4	52	18.9	41	21.5	→
8. 原材料・仕入商品の値上がり	47	16.5	40	14.5	28	14.7	→

調査の概要

1. 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業456社 回答数191(回答率41.9%)
3. 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間 実績:2016年10-12月期 見通し:2017年1-3月期
5. 調査時点 2016年11-12月
6. その他 本調査は、11月30日時点の集計による速報値に基づいて分析しています

DI: ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

この他、今回は2017年業況の見通し等についても調査しています。調査結果は弊所ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。